①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・直角，長方形の定義を理解している。

○既習とつなぐ見方・考え方

・2年「三角形と四角形」で，辺の数によって，いろいろな図形を，三角形，四角形に分類する学習をしている。

○共同追究でのゆさぶり

・図形を構成要素（辺，角）に着目して調べる意識はまだ弱い。

○ゆさぶりに対応する経験

・紙を操作することにより，角の形や辺の長さに着目して，長方形を調べる経験をしている。

≪学習問題≫

長方形の紙を右のようにおって切りま

しょう。ひらいてできる四角形はどんな

四角形ですか。

教材研究ノート№2-B-3

≪学習問題≫

主眼

授業計画･実施記録

②学習課題：紙を切ってつくった四角形のかどの形を調べて，できた四角形が長方形になるかしらべよう。

②見通し：かどがどれも直角になりそうだから長方形かな。

→紙を切って四角形をつくり，かどを調べればよい。

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

③個人追究：四角形をつくって，角の形を調べる。

④共同追究前半（学習問題の解決）

「調べた結果を発表しよう。」（角や辺に着目してまとめる）

→「かどがみんな直角になったから，長方形になる。」

→「作った四角形は辺の長さがみんな同じだから，長方形とは違う。」（折って確かめる）

「かどがみんな直角で，辺の長さがみんな同じ四

角形を『正方形』といいます。」

④共同追究後半（思考を深める）

「長方形と正方形を見分けるには何を調べればいいかな？」

→「まず，かどがみんな直角かどうか調べる。」

→「次に，辺の長さがみんな同じかどうか調べる。」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・かどがみんな直角で，辺の長さがみんな同じ四角形を「正方形」ということを知った。

・かどの形と辺の長さを調べると，長方形と正方形を区別することができる。

⑥定着･活用問題

右の図形の中から，長方形や正方形をみつけましょう。見つけた理由もいいましょう。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

≪定着・活用問題≫

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・紙を工夫して折ることで，向かい合う辺の長さ，隣り合う辺の長さが比べられることを意識付け，操作の意味を理解させたい。

・長方形，正方形の置かれた位置（向き）が変わると，長方形，正方形と認められない児童がいるので，図形を回転させて重なることを確かめたり，図形の提示の仕方に変化をつけたりすることにより，位置（向き）に関わらず図形をとらえられるようにしたい。

【板書計画】